

R2 実務研修/更新研修[実務未経験者]兼再研修 ※更新研修兼再研修は網掛けのみ【松江会場:くにびきメッセ】 ※裏面あり

日程・区分・時間		科目	内容	
eラーニング (前期)	180分程度	①介護支援専門員保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	介護保険制度の理念等を理解する。また、利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解する。	
	300分程度	②自立支援のためのケアマネジメントの基本	利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの視点を理解する。また、利用者が住み慣れた地域で主体的な生活を送ることができるように支援する事の重要性を理解するとともに、在宅生活を支援する上で、家族に対する支援の重要性を理解する。	
	120分程度	④人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	人権と尊厳を支える専門職に求められる姿勢を認識する。また、介護支援専門員としての職業倫理を理解するとともに、日常業務で直面する倫理課題等を認識する。	
	120分程度	⑧介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	多職種に対する理解・尊厳に基づいてチームを組成し、円滑に機能させるための基本的な技術を習得する。	
	180分程度	⑨地域包括ケアシステム及び社会資源	地域包括ケアの理念を踏まえ、介護支援専門員に求められる役割を理解する。また、利用者を支援する上で知っておくべき各種制度や地域の社会資源の重要性を理解する。	
	180分程度	⑩ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義	医療との連携や多職種協働の意義を踏まえ、具体的な連携の場面で必要となる基本的な知識や連携の手法を習得する。	
	120分程度	⑪ケアマネジメントに係る法令等の理解	法令を遵守し、介護支援専門員の業務を適切に遂行できるよう、介護保険制度に係る法令等を正しく理解する。	
集合研修 (前期1)	9:00~9:50	受付		
	9:50~10:00	開会		
	10:00~12:00	講義・演習	②自立支援のためのケアマネジメントの基本	利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの視点を理解する。また、利用者が住み慣れた地域で主体的な生活を送ることができるように支援する事の重要性を理解するとともに、在宅生活を支援する上で、家族に対する支援の重要性を理解する。
	13:00~14:00	講義・演習	⑧介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	多職種に対する理解・尊厳に基づいてチームを組成し、円滑に機能させるための基本的な技術を習得する。
	14:10~16:10	講義	⑥ケアマネジメントのプロセス	ケアマネジメントプロセスの全体像を理解する。
	16:10~16:40	振り返り		
	10:10~15:10	講義・演習	③相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	相談援助の専門性を理解し、直接援助職から相談援助職への視座の転換を行う。また、利用者を多面的にとらえる視点の必要性を理解し、自立援助に向けた相談援助技術を習得する。
	15:20~17:20	講義・演習	⑤利用者、多くの種類の専門職等への説明および合意	利用者及びその家族に対する適切な説明と合意形成の手法を習得する。また、サービス担当者会議、地域ケア会議等様々な場面においても説明と合意が得られる技術を習得する。
	9:00~10:00	講義・演習	⑦-1ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術 「受付及び相談並びに契約」	受付及び初期面接相談(インテーク)、契約の場面で求められる実践的な技術を習得する。
	17:20~17:50	振り返り		
	9:00~16:00	講義・演習	⑦-2ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術 「アセスメント及びニーズの把握の方法」	利用者及びその家族並びに多職種からの情報収集とその分析を通じて、介護支援専門員としての専門的な判断の根拠を説明できる技術を習得する。また、アセスメントにおいて収集した情報から、専門職としてニーズを導くための技術を習得する。
	16:00~16:30	振り返り		
集合研修 (前期2)	9:00~16:00	講義・演習	⑦-3ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術 「居宅サービス計画等の作成」	ニーズを踏まえた目標の設定と目標を実現するための居宅サービス経過等の作成技術を習得する。また、居宅サービス計画等と訪問介護計画等の個別のサービス経過との連動の重要性を理解する。
	16:00~16:30	振り返り		
	10:00~15:00	講義・演習	⑦-4ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術 「サービス担当者会議の意義及び進め方」	多職種とのアセスメント結果の共有や、居宅サービス計画等の原案に対する専門的見地からの意見収集の意義を理解し、会議の開催に係る具体的な方法を習得する。
	15:10~16:10	講義	⑫実習オリエンテーション	研修における実習の位置付けと目的、実施方法を里香氏、効果的な実習に結び付ける。
	15:00~15:30	振り返り		
	10:00~15:00	講義・演習	⑦-5ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術 「モニタリング及び評価」	ケアマネジメントプロセスにおけるモニタリングの意義・目的や多職種との連携によるサービス実施の効果を検証することの重要性を理解する。
16:10~16:40	振り返り			

eラーニング (後期)	120分 程度	⑮-2ケアマネジメントの展開 「基礎理解」	ケアマネジメントは高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいて行われる必要があることを理解する。			
		⑮-2ケアマネジメントの展開 「脳血管疾患に関する事例」	脳血管疾患の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。			
		⑮-3ケアマネジメントの展開 「認知症に関する事例」	認知症の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。			
		⑮-4ケアマネジメントの展開 「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」	筋骨格疾患及び廃用症候群の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。			
		⑮-5ケアマネジメントの展開 「内臓の機能不全に関する事例」	内臓の機能不全に係る疾患・症候群の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。			
		⑮-6ケアマネジメントの展開 「看取りに関する事例」	看取りにおける留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。			
集合研修 (後期1)	3月1日 (月)	13:00～16:00	講義・演習	⑭実習振り返り	実習を通して得られた気付きや課題を客観的に振り返り、発表することを通じて今後の学習課題を認識する。	
		16:00～16:30	振り返り			
	3月2日 (火)	10:00～11:00	講義・演習	⑮-1ケアマネジメントの展開 「基礎理解」	ケアマネジメントは高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいて行われる必要があることを理解する。	
		11:10～15:10	講義・演習	⑮-6ケアマネジメントの展開 「看取りに関する事例」	看取りにおける留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。	
		15:10～15:40	振り返り			
	3月3日 (水)	9:00～16:00	講義・演習	⑮-2ケアマネジメントの展開 「脳血管疾患に関する事例」	脳血管疾患の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。	
			講義・演習	⑮-4ケアマネジメントの展開 「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」	筋骨格疾患及び廃用症候群の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。	
		16:00～16:30	振り返り			
	集合研修 (後期2)	3月10日 (水)	9:00～16:00	講義・演習	⑮-5ケアマネジメントの展開 「内臓の機能不全に関する事例」	内臓の機能不全に係る疾患・症候群の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。
				講義・演習	⑮-3ケアマネジメントの展開 「認知症に関する事例」	認知症の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援にあたってのポイントを理解する。
			16:00～16:30	振り返り		
		3月11日 (木)	9:00～15:00	講義・演習	⑯アセスメント及び居宅サービス計画作成等の総合演習	研修全体での学びを踏まえ、アセスメントから居宅サービス計画等の作成からモニタリングまでを一貫して行い、ケアマネジメントプロセスについて更なる理解を深める
15:10～17:10			講義・演習	⑰研修全体を振り返って意見交換、講評及びネットワーク作り	研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の楽手化ファイを認識し、自己研鑽の意欲を高める。また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。	
17:10～17:40			振り返り			